

要点解説

7人の社会心理学系グルが伝える 人と組織の本質

クルト・レヴィン／カール・ロジャーズ／スタンレー・ミルグラム／アーヴィング・ジャニス／
アルバート・バンデューラ／イザベル・マイヤーズ／エイミー・C. エドモンドソン

アースシップ・コンサルティング 代表 松山 淳

● 変化の時代に「変わらないコト」を識る

新型コロナウイルスの影響が広がり、社会に大きなダメージを与えている。多くの企業ではテレワーク（在宅勤務）が導入され、ネットを使った会議も日常風景になりつつある。

そんな変化の速い時代においては、「変わるコト」への対応と「変わらないコト」への再確認が求められる。組織改革でよく唱えられる「原点回帰」とは、「変わらないコト」の明確化だ。

人事マネジメントとは「人を考える」仕事である。人への深い理解は、人事の仕事の原点であり、どんな時代であっても「変わらないコト」だ。

そこで、「人を考える」学問の代表格である心理学の知識をお伝えしていく。社会が混沌としている今、人と組織と社会を考える社会心理学系のグルたちの言葉に耳を傾けてみたい。

「変わらないコト」が、変化に効果的に対応する「軸」になる。

目次

- 1 クルト・レヴィン** 【人の行動を変えるには「常識」を変える】
レヴィンの生い立ち ベルリン大学時代 アイオワ大学時代 MIT時代
- 2 カール・ロジャーズ** 【ノーベル平和賞候補になったカウンセラー】
ロジャーズのキャリア エンカウンター・グループの始まり
ノーベル平和賞候補に ありのままの自分が力になる
- 3 スタンレー・ミルグラム** 【「服従の心理」を知ることが権威に抗う力になる】
アイヒマン実験の様子 実験の結果 エージェント状態とは
服従の心理を知る
- 4 アーヴィング・ジャニス** 【なぜ、優れた人たちが愚かな意思決定をするのか?】
グループシンク ケネディの失策 グループシンクの要因
ケネディの改善
- 5 アルバート・バンデューラ** 【自己効力感を高める4つの視点】
社会的学習理論 自己効力感 自己効力感を高める
- 6 イザベル・マイヤーズ** 【「お互いが違うことの価値」を尊重できる職場になる】
MBTI®の開発経緯 MBTI®の特徴 MBTI®の実際
- 7 エイミー・C. エドモンドソン** 【メンバーが安心して発言できるチームは強い!】
コロムビア号爆発事故 エドモンドソンのキャリア
心理的安全性 心理的安全性を育む 人事部がモデルになる

● 松山 淳 (まつやま じゅん)



アースシップ・コンサルティング 代表 リーダー研修講師/心理カウンセラー
1968年 東京都生まれ。1992年 成城大学文学部卒、JR東海エージェンシー（広告代理店）を経て、2002年 アースシップ・コンサルティング設立。世界の企業が活用するMBTI®自己分析メソッドを用い、リーダーたちがその人らしいリーダーシップを発揮できるようにサポートする。「リーダーの自己成長を支援し人と組織を元気にすることで世界の家族にたくさんの笑顔をひろげる」を使命に、リーダー層(経営者、起業家、管理職)を対象とした個別相談、コーチング、研修、講演、執筆活動など幅広く活躍中。著書に『名もなき人の生きるかたち』(文芸社)、『バカと笑われるリーダーが最後に勝つ トリックスター・リーダーシップ』(ソフトバンク新書)、『機動戦士ガンダム』が教えてくれた新世代リーダーシップ』(SBクリエイティブ)、『君が生きる意味 人生を劇的に変えるフランクルの教え』(ダイヤモンド社) ほか。

<http://www.earthship-c.com/>